

# 琉球大学学術リポジトリ

新聞切り抜き：『東京朝日新聞』

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2018-04-16 キーワード (Ja): 昭和2年6月4日。見出し：台湾民黨の結社遂に禁止 資料形態：新聞切抜 キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/38303">http://hdl.handle.net/20.500.12000/38303</a>

# 矢内原忠雄文庫

史料名	昭和2年6月4日『東京朝日新聞』台湾民黨の結社 遂に禁止
封筒番号	289
原文所蔵者	琉球大学附属図書館
撮影年月日	平成17年11月16日
撮影者	富士写真フイルム株式会社
備考	

# 矢内原忠雄文庫

封筒番号：289

史料名	昭和2年6月4日『東京朝日新聞』台湾民黨の結社遂に禁止
資料形態	新聞切抜
枚数	1
页数	2
縦 (cm)	
横 (cm)	
厚さ (cm)	
書誌的事項	台湾  今泉分類記号：P

6.4  
6.2

## 台湾民黨の 結社遂に禁止

治警第八條により  
きのふ總督府から命令

【台北特電】台湾本島人の政治結社公政革新會が去月二十九日發會式を舉げ三十一日の届出に際して台湾民黨と改稱し總領政中に民族的反感をそそぐが如きものがあつたことは既報の如くであるが總督府では治安警察法第八條第二項の安寧秩序を維持するに必要なる場合の處置を認め三日午前十一時右結社の禁止を命じ、その旨台湾民黨の幹部に通じた。

### 禁止理由を發表

台湾民黨の綱領(台湾人全體の解放)政綱および同黨成立の結果より考ふるに同黨の將來は不純分子の左右する虞となるは必定の勢にしてこれを放置するに於いては徒らに台湾國民の幸福に有害なる民族的感情を激成し穩健なる政治思想の發達を妨げ帝國の台湾統治の大眼目たる内台融和の促進を害し帝國新範圍の融和の下に台湾の秩序ある進歩發達を妨げ一方島民の福利増進を害し統治上誠に憂ふべき結果を招來する恐れありとつてこの際これが禁止を命じ禍害を未然に防がんとす、本結社の如き純實に島民の福利増進を目的とするにあらず徒に民族的反感を助長しもつて島民永遠の幸福を妨ぐるものに對しては斷じてその存立を認むる能はず、これ本結社を禁止する所以である。



氏の許まで要求して一方取引員も割當ての多きを望んでゐるからこれが決定までには多少の面  
到が起るものと見られる

一、取引員の義務株については主務省の希望もあり代行機能を圓滑になすためにも必要であるが持株の離脱、處分等の集合に拘束される様ひがあるため強制的にせず申合せの程度に止める

一、新會社設立の時期および發起人については組合、中慮との間に特定取引員を解約するには三ヶ月以前の豫告を要する契約が存しているが中慮の代行義務消滅によつてこれと關係なく設立準備終了次第主務省へ短期取

合計(三三三)七分(一厘)減  
前五年平均相場高に比すれば  
(單位石)

大麥 三三三(五分八厘)減  
小麥 三三三(五分二分)増  
合計(三三三)九厘(減)  
の豫想である以上の如く減收の豫想を示せるは麥價の不振により一般に作付面積を減少せることは豫想時には氣候概ね適順なりしも後三月中旬に至る候は不順にして氣溫著しく低下し局部的にはか

配協にまでこぎつけたのであ  
る。また種をかるにはい、銀  
行家がこれまで協定するにほ  
實に珍しいことである。金融界  
の高價が敢て減収であるが銀行  
家も始めて我に歸つたのであ  
る。曾て見ない赤裸々、眞剣ミ  
が銀行家にもよみがへつて來た  
のである。銀行家自身の改選の  
轉機が來たのである。そしてこ  
れを機會として、金融界にも  
も改選の鐘が鳴り渡るやうであ  
る。

たのである。するも事業家の方  
でも、身分不相應に無擔保のコ  
ールを泳いで、たこ配を續け、  
重投資費を多くし、待合いりを  
遊離するのであつた。そしてひ  
びだらけの銀行會社を立派なカ  
ットグラスに見せかけてゐたの  
である。

しかるに今度の恐慌で、カット  
グラスの筋が、飾りでなくてひ  
びであることが、遺憾なく天下  
に知られた。のみならず二